

| 今月の不動産経済 （2024年6月）

● 不動産業の動向

			前月比
不動産業景気動向指数（DI） ^{*1}	48.0 p	0.3 p	↗
			前年同月比
不動産業の倒産状況 ^{*1}	19 件	△ 9.5 %	↘
負債総額 ^{*1}	4,391 百万円	△ 64.9 %	↘

● 新設住宅着工数

			前年同月比
新設住宅着工・総数 ^{*2}	66,285 戸	△ 6.7 %	↘
持家	19,181 戸	△ 5.6 %	↘
貸家	28,233 戸	△ 6.2 %	↘
分譲	18,361 戸	△ 8.6 %	↘
内マンション	8,241 戸	△ 2.1 %	↘

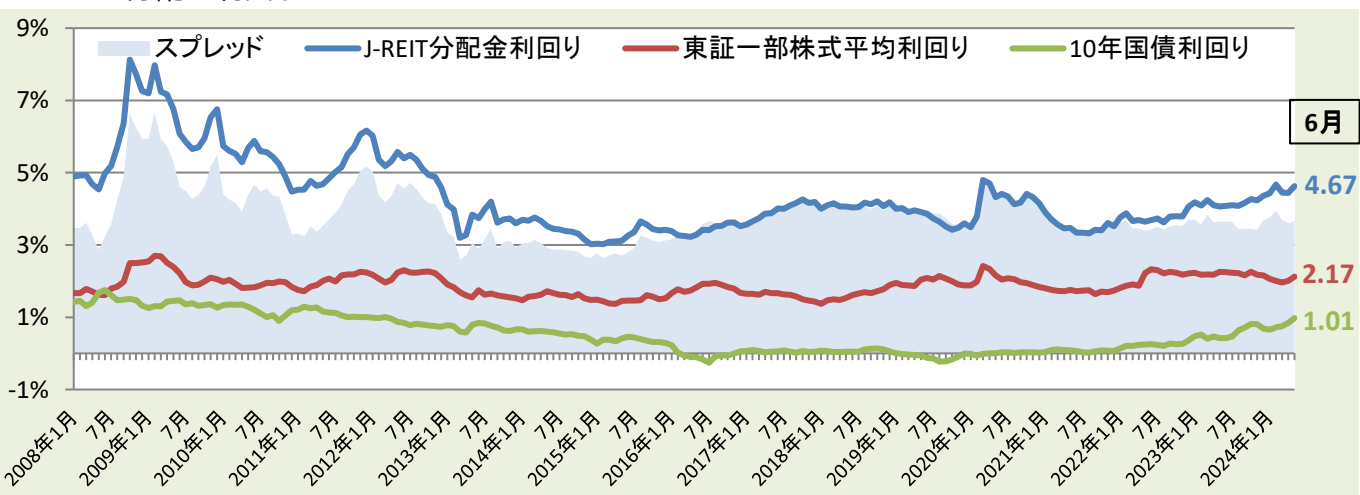
● マンション市場の動向

			前年同月比
新築・供給戸数（首都圏） ^{*3}	1,662 戸	△ 12.8 %	↘
[契約率]	[66.4%]	△ 1.4 p	↘
平均価格	8,199 万円	25.2 %	↗
新築・供給戸数（近畿圏） ^{*3}	1,030 戸	△ 25.6 %	↘
[契約率]	[75.3%]	△ 0.3 p	↘
平均価格	5,629 万円	32.1 %	↗
中古・成約件数（首都圏） ^{*4}	3,288 戸	5.2 %	↗
平均価格	4,956 万円	7.5 %	↗
[m単価]	[78.0万円]	7.9 %	↗
中古・成約件数（近畿圏） ^{*4}	1,622 戸	12.6 %	↗
平均価格	3,005 万円	12.2 %	↗
[m単価]	[44.3万円]	13.1 %	↗

● オフィス市場の動向

			前年同期比（賃料）/前月比（空室率）
オフィス賃料（都心5区） ^{*6}	19,979 円	0.7 %	↗
オフィス空室率（都心5区） ^{*6}	5.15 %	△ 0.33 p	↘

● J-REIT分配金利回り^{*7}



不動産業の業況感は前月から0.3p改善の48.0pとなった。

新設住宅着工数は、2ヶ月連続で前年同月比減。

首都圏の新築マンション供給戸数は、前年同月比 12.8%減（3ヶ月連続で減）。契約率は 66.4%。平均価格は同 25.2%上昇（4ヶ月ぶりに上昇）。

近畿圏の新築マンション供給戸数は、同 25.6%減（7ヶ月ぶりに減）。契約率は 75.3%。平均価格は同 32.1%上昇（2ヶ月連続で上昇）。

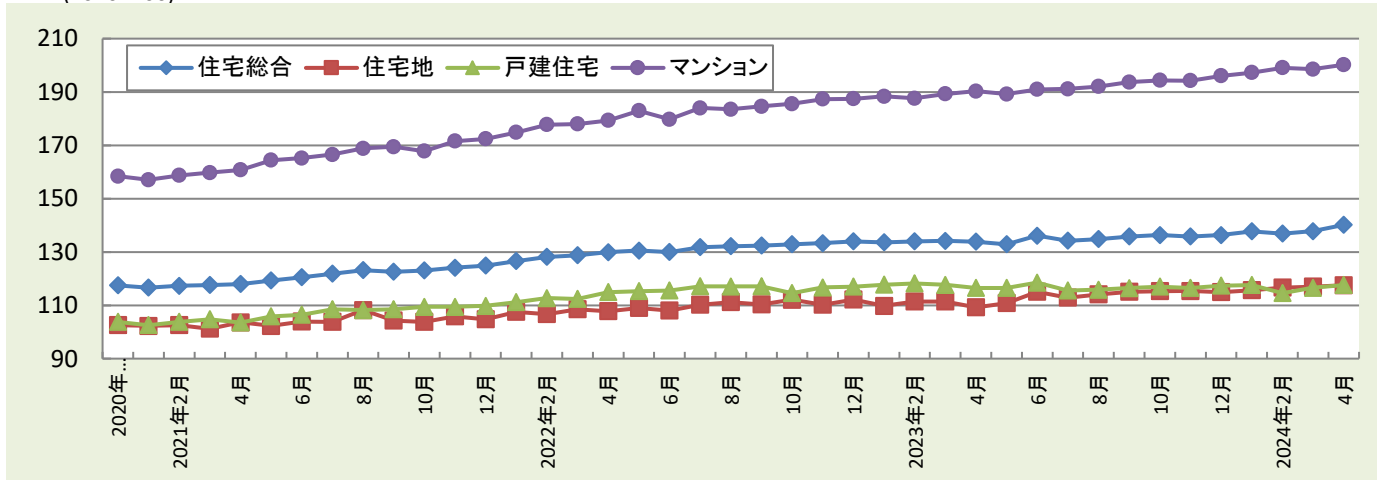
首都圏の中古マンション成約件数は 前年同月比 5.2%増（13ヶ月連続で増）。平均価格は同 7.5%上昇（49ヶ月連続で上昇）。

近畿圏の中古マンション成約件数は 同 12.6%増（2ヶ月ぶりに増）。平均価格は 同 12.2%上昇（12ヶ月連続で上昇）。

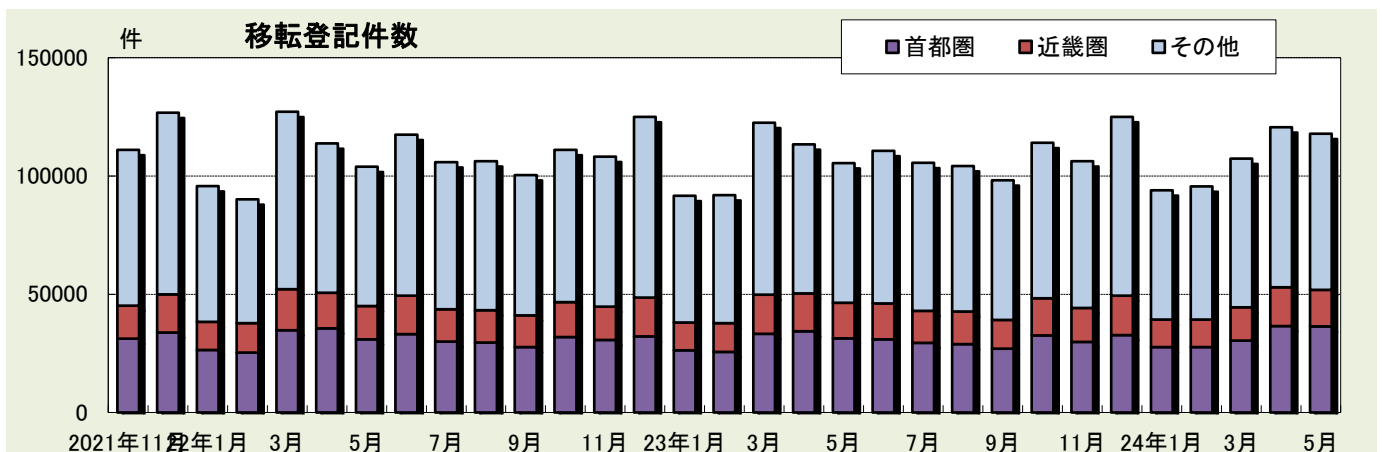
都心5区のオフィス賃料は 2ヶ月連続で前年同月上昇。オフィス空室率は前月比 0.33%p低下の 5.15%。

● 不動産価格指数^{*2}

(2010=100)



● 売買による土地所有権移転状況^{*8}



*1 帝国データバンク（DIは0～100、50が判断の分かれ目）

*2 国土交通省

*3 不動産経済研究所

*4 不動産流通機構

*5 アットホーム

*6 三鬼商事

*7 不動産証券化協会、東京証券取引所、財務省（スプレッド＝J-RIET分配金利回り－10年国債利回り）

*8 法務省

[今月の不動産経済](#)

[時系列データ\(excel\)ダウンロード](#)